

県内企業の景況意識調査

(第187回)

* 2023年 10～12月期〈Ⅳ期〉の実績見込み

* 2024年 1～3月期〈Ⅰ期〉の見通し

1990年以来、33年ぶりの高水準

今期（2023年10～12月期〈Ⅳ期〉）の業況判断BSIは、前期比12.2ポイント上昇の+12.8となった。業種別のBSIは『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業』の5業種で改善し、『建設業』で悪化した。

今期の業況判断BSIは1990年以来、33年ぶりの高水準となった。業種別でも、建設業を除く5業種で改善し、県内企業の景況感は幅広い業種で上向いている。要因として、人流の回復やイベント関連需要の増加を挙げる企業がみられた。

来期（2024年1～3月期〈Ⅰ期〉）の業況判断BSIは、今期比12.8ポイント低下の±0.0となる見通し。業種別のBSIは『金融・不動産業』で改善、『建設業』『製造業』『卸・小売業』『運輸業』『サービス業』の5業種で悪化の見通しである。

来期は、一部の企業から製品需要の減少や受注の低下を懸念する声が聞かれ、今期比で悪化する見込み。また、経営上の課題として人手不足を挙げる企業の割合が上昇傾向にある。

* 2023年 10～12月期〈Ⅳ期〉の実績見込み

製造業……………2期ぶりに改善

卸・小売業……………卸売業、小売業ともに改善

建設業……………2期ぶりに悪化

サービス業……………3期連続のプラス水準

1990年以来、33年ぶりの高水準

◎業況判断

【今期】 (2023年10~12月期 <IV期>)

業況判断BSI : +12.8 (前期比+12.2ポイント)

<内訳>

- ・よくなった 26.3% (前期比+ 9.7ポイント)
- ・悪くなった 13.5% (前期比▲ 2.5ポイント)
- ・変わらない 60.2% (前期比▲ 7.2ポイント)

<業種別>

- ・前期比改善 : 5業種 (『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業』)
- ・前期比悪化 : 1業種 (『建設業』)

今期の業況判断BSIは1990年以来、33年ぶりの高水準となった。業種別でも、建設業を除く5業種で改善し、県内企業の景況感は幅広い業種で上向いている。要因として、人流の回復やイベント関連需要の増加を挙げる企業がみられた。

来期は、一部の企業から製品需要の減少や受注の低下を懸念する声が聞かれ、今期比で悪化する見込み。また、経営上の課題として人手不足を挙げる企業の割合が上昇傾向にある。

【来期】 (2024年1~3月期 <I期>)

業況判断BSI : ± 0.0 (今期比▲12.8ポイント)

<内訳>

- ・よくなる 18.8% (今期比▲ 7.5ポイント)
- ・悪くなる 18.8% (今期比+ 5.3ポイント)
- ・変わらない 62.4% (今期比+ 2.2ポイント)

<業種別>

- ・今期比改善 : 1業種 (『金融・不動産業』)
- ・今期比悪化 : 5業種 (『建設業』『製造業』『卸・小売業』『運輸業』『サービス業』)

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI : +17.5 (前期比+13.5ポイント)

4業種で改善

収益BSI : +10.0 (前期比+ 8.3ポイント)

4業種で改善

【来期】

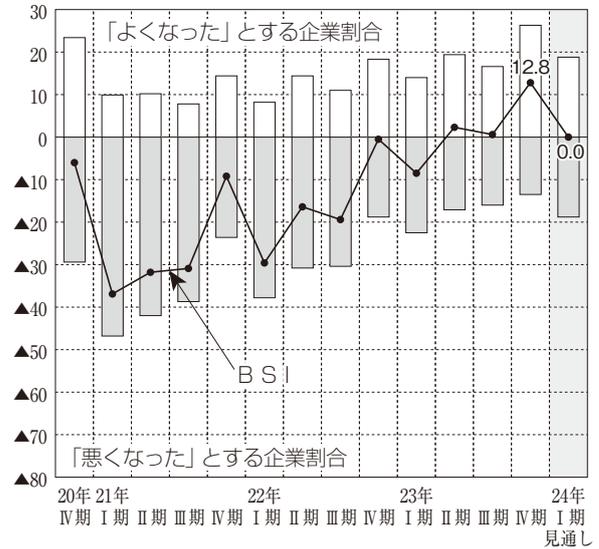
売上高BSI : ▲ 1.8 (今期比▲19.3ポイント)

3業種で悪化見通し

収益BSI : ▲10.0 (今期比▲20.0ポイント)

4業種で悪化見通し

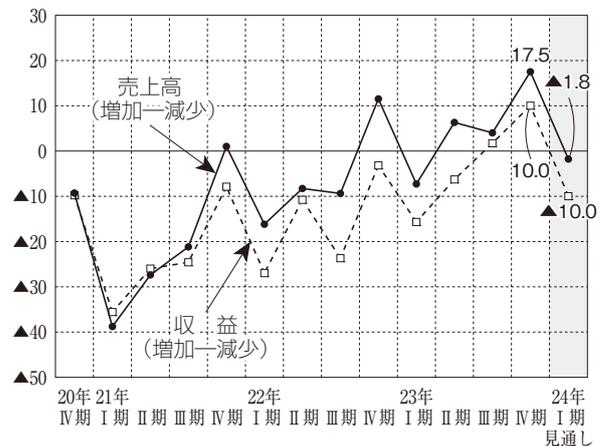
業況判断 (B S I)



業況判断指数内訳 (B S I)

	2023年 II期	2023年 III期	2023年 IV期	2024年 I期見通し
建設業	0	8.0	▲ 4.0	▲12.0
製造業	▲ 1.8	▲ 3.7	14.0	0.0
卸・小売業	▲16.2	▲14.3	2.4	▲ 4.8
金融・不動産業	33.3	0.0	20.0	40.0
運輸業	25.0	0.0	9.1	0.0
サービス業	21.9	18.9	38.7	9.7
全 産 業	2.3	0.6	12.8	0.0

売上高と収益 (B S I)



◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間 B S I : + 4.8 (前期比 + 9.4%)
 4 業種で上昇
 雇用者数の現状 B S I : ▲42.1 (前期比 ± 0.0%)
 3 業種で上昇

【来期】

所定外労働時間 B S I : ± 0.0 (今期比 ▲ 4.8%)

◎経営上の問題点

- 1 位 : 「売上不振」(24.5%)
- 2 位 : 「人手不足」(23.9%)
- 3 位 : 「原材料仕入価格高騰」(20.9%)
- 4 位 : 「人材不足」(12.3%)
- 5 位 : 「人件費増」「競争激化」(5.5%)

業種別にみると、「売上不振」と回答した割合は、『卸・小売業』が35.9%と特に高い。「人手不足」は『サービス業』で44.8%と最も高くなっている。

◎設備投資実施割合

【今期】

実施企業の割合 : 42.7% (前期比 + 4.4%)
 3 業種で上昇

<投資目的>

- 1 位 : 「補修・更新」(64.3%)
- 2 位 : 「合理化・省力化」
 「生産能力の拡大・売上増加」(11.4%)

【来期】

実施予定企業の割合 : 40.9% (今期比 ▲ 1.8%)
 3 業種で上昇見通し

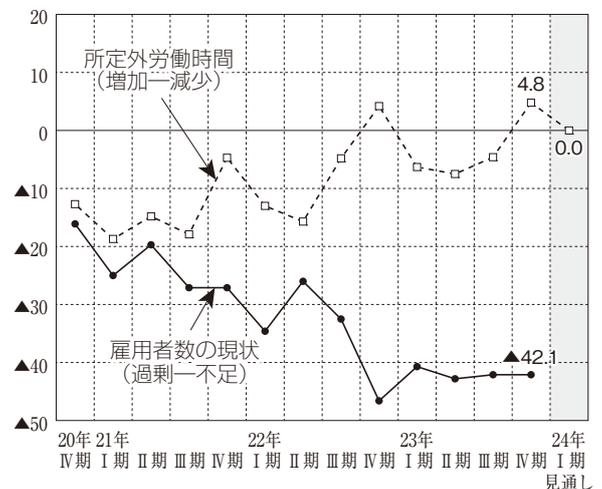
<投資目的>

- 1 位 : 「補修・更新」(64.7%)
- 2 位 : 「合理化・省力化」(16.2%)
- 3 位 : 「生産能力の拡大・売上増加」(11.8%)

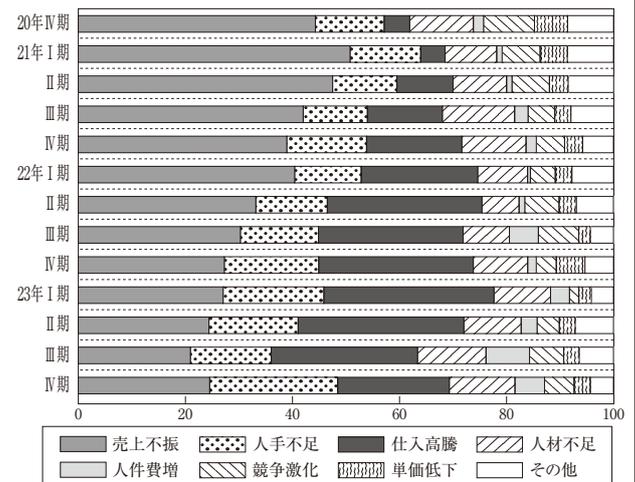
◎「今年の冬季ボーナスの支給予定額」について

今回の調査において、「今年の冬季ボーナスの支給予定額」について尋ねたところ、「前年の冬季と同水準」が49.7%、「前年の冬季より増加する」が23.4%、「わからない」が11.1%、「ボーナスの支給予定はない」が7.6%、「前年の冬季より減少する」が7.0%となった。

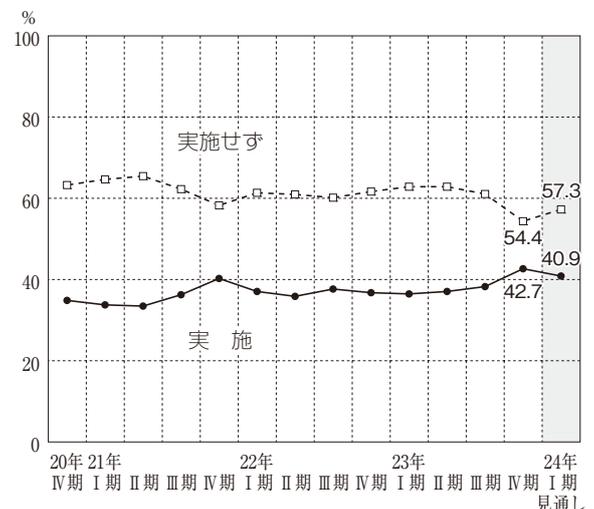
所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



経営上の問題点 (%)



設備投資実施割合



2 期ぶりに改善

◎業況判断

【今期】(2023年10~12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断 B S I : +14.0 (前期比+17.7[㊦])

〈内訳〉

- ・よくなった 29.8% (前期比+17.1[㊦])
- ・悪くなった 15.8% (前期比▲0.6[㊦])
- ・変わらない 54.4% (前期比▲16.5[㊦])

〈業種別〉

- ・前期比改善：6業種 (「化学・石油」
「鉄・非鉄・金属」「機械」「食料品」
「木材・家具」「印刷・出版」)
- ・前期比悪化：1業種 (「その他」)
- ・前期比不変：1業種 (「窯業・土石」)

価格転嫁の浸透やお歳暮・土産物需要の高まりから「食料品」が改善したほか、堅調な受注に支えられた「鉄・非鉄・金属」が改善し、全体の業況判断 BSI も 2 期ぶりに改善した。

【来期】(2024年1~3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断 B S I : ± 0.0 (今期比▲14.0[㊦])

〈内訳〉

- ・よくなる 21.4% (今期比▲8.4[㊦])
- ・悪くなる 21.4% (今期比+5.6[㊦])
- ・変わらない 57.1% (今期比+2.7[㊦])

〈業種別〉

- ・今期比改善：1業種 (「鉄・非鉄・金属」)
- ・今期比悪化：4業種 (「機械」「食料品」
「木材・家具」「窯業・土石」)
- ・今期比不変：3業種 (「化学・石油」「印刷・出版」
「その他」)

引き続き堅調な受注が予想される「鉄・非鉄・金属」が改善する見込みである一方、季節要因の剥落から「食料品」などが悪化する見通しであり、来期の業況判断 BSI は悪化する見通し。

◎売上高と収益

【今期】

売上高 B S I : +24.6 (前期比+30.0[㊦])

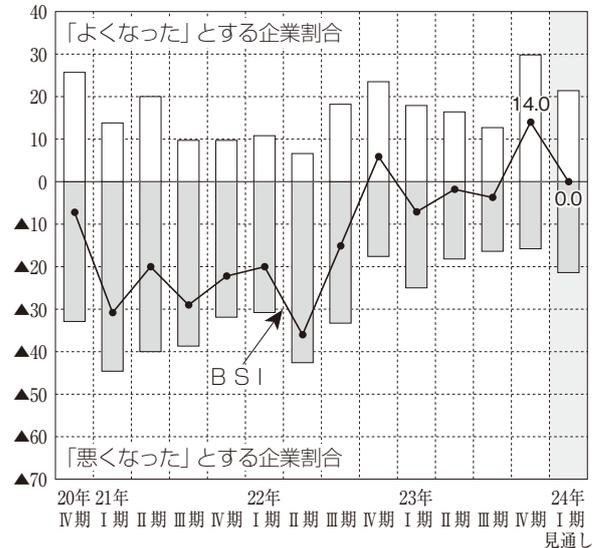
収益 B S I : +10.8 (前期比+18.0[㊦])

【来期】

売上高 B S I : ▲5.4 (今期比▲30.0[㊦])

収益 B S I : ▲15.8 (今期比▲26.6[㊦])

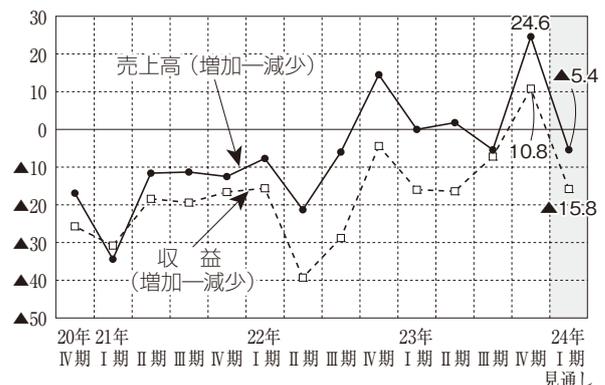
業況判断 (B S I)



業況判断指数内訳 (B S I)

	2023年 Ⅱ期	2023年 Ⅲ期	2023年 Ⅳ期	2024年 Ⅰ期見通し
化学・石油	▲25.0	▲25.0	0.0	0.0
鉄・非鉄・金属	▲40.0	▲40.0	20.0	25.0
機 械	0.0	▲7.2	0.0	▲5.9
食 料 品	27.3	14.3	46.7	20.0
木材・家具	▲16.6	▲20.0	33.3	0.0
印刷・出版	▲50.0	▲50.0	▲25.0	▲25.0
窯業・土石	33.3	0.0	0.0	▲66.7
そ の 他	16.6	42.9	0.0	0.0
製 造 業	▲1.8	▲3.7	14.0	0.0

売上高と収益 (B S I)



卸売業、小売業ともに改善

◎業況判断

【今期】(2023年10~12月期〈Ⅳ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI: + 5.6 (前期比+24.4[㊦])

<内訳>

- ・よくなった 16.7% (前期比+ 4.2[㊦])
- ・悪くなった 11.1% (前期比▲20.2[㊦])
- ・変わらない 72.2% (前期比+15.9[㊦])

『小売業』

業況判断BSI: ± 0.0 (前期比+11.6[㊦])

<内訳>

- ・よくなった 30.4% (前期比+18.9[㊦])
- ・悪くなった 30.4% (前期比+ 7.3[㊦])
- ・変わらない 39.1% (前期比▲26.3[㊦])

卸売業、小売業ともに売上高BSI、収益BSIが改善し、業況判断BSIも改善した。人流の増加やイベント関連需要の回復により業況が改善している。

【来期】(2024年1~3月期〈Ⅰ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI: ▲ 5.5 (今期比▲11.1[㊦])

『小売業』

業況判断BSI: ▲ 4.3 (今期比▲ 4.3[㊦])

業況判断BSIは卸売業、小売業ともに悪化する見通し。燃料小売業では、ガソリン価格の高止まりによって買い控えがみられており、今後も影響が懸念されるとの声があった。

◎卸売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI: +22.2 (前期比+22.2[㊦])収益BSI: +16.7 (前期比+10.5[㊦])

【来期】

売上高BSI: ▲16.6 (今期比▲38.8[㊦])収益BSI: ▲22.2 (今期比▲38.9[㊦])

◎小売業：売上高と収益

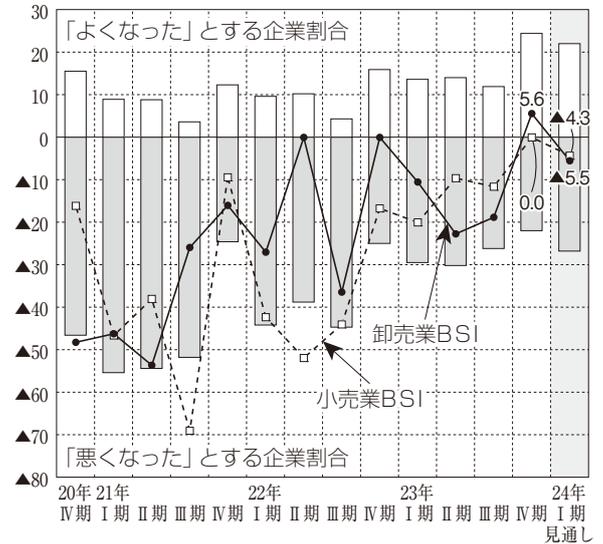
【今期】

売上高BSI: + 4.4 (前期比+ 4.4[㊦])収益BSI: ± 0.0 (前期比+ 7.7[㊦])

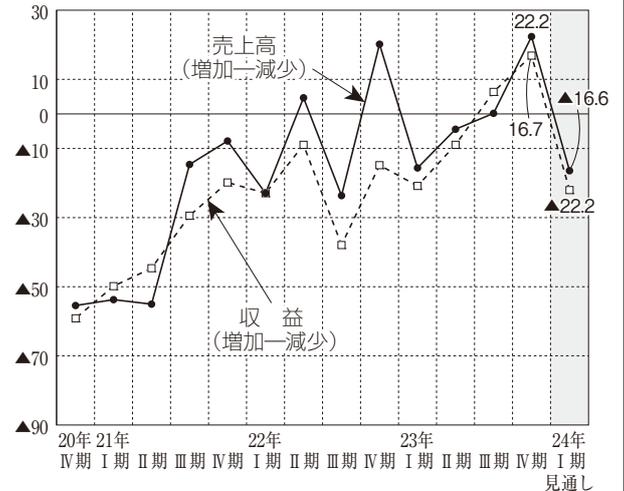
【来期】

売上高BSI: ▲ 4.4 (今期比▲ 8.8[㊦])収益BSI: ▲ 4.3 (今期比▲ 4.3[㊦])

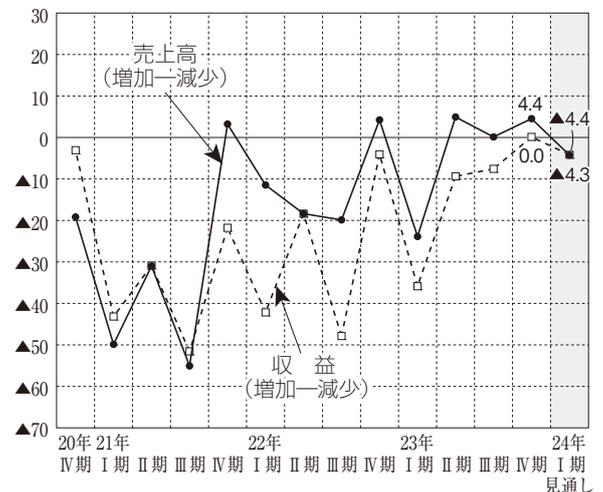
業況判断 (B S I)



【卸売業】 売上高と収益 (B S I)



【小売業】 売上高と収益 (B S I)



2期ぶりに悪化

◎業況判断

【今期】(2023年10~12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI : ▲ 4.0 (前期比▲12.0㊦)

<内訳>

- ・よくなった 4.0% (前期比▲12.0㊦)
- ・悪くなった 8.0% (前期比± 0.0㊦)
- ・変わらない 88.0% (前期比+12.0㊦)

「変わらない」との回答が9割弱を占めるが、「よくなった」との回答が減少し、業況判断BSIは2期ぶりに悪化した。経営上の課題として、仕入高騰を挙げる割合が低下した一方、売上不振を挙げる割合が上昇した。

【来期】(2024年1~3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断BSI : ▲12.0 (今期比▲ 8.0㊦)

<内訳>

- ・よくなる 4.0% (今期比± 0.0㊦)
- ・悪くなる 16.0% (今期比+ 8.0㊦)
- ・変わらない 80.0% (今期比▲ 8.0㊦)

売上高BSIと収益BSIは改善する見通しだが、工事の受注減少を危惧する事業者の声が一部聞かれており、業況判断BSIも悪化する見通し。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲24.0 (前期比▲20.0㊦)

収益BSI : ▲16.0 (前期比▲20.0㊦)

【来期】

売上高BSI : ▲ 4.0 (今期比+20.0㊦)

収益BSI : ▲ 4.0 (今期比+12.0㊦)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間BSI : ▲ 8.0 (前期比▲ 8.0㊦)

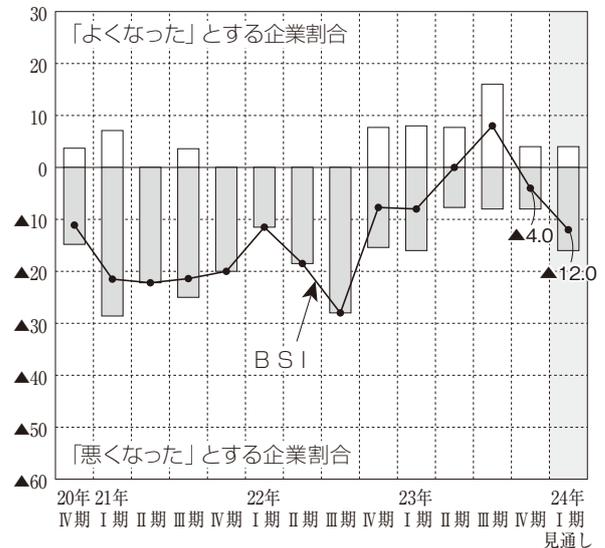
雇用者数の現状BSI : ▲68.0 (前期比+ 7.0㊦)

【来期】

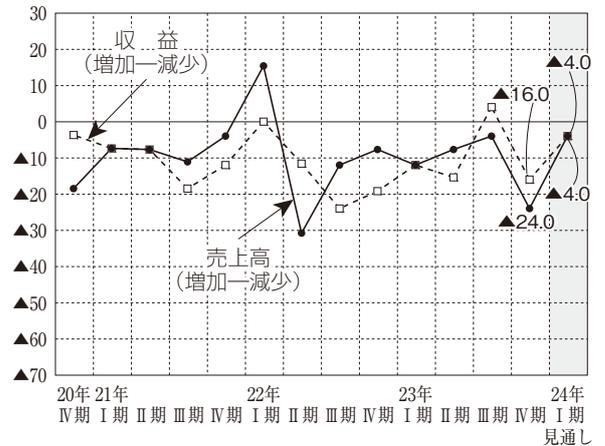
所定外労働時間BSI : ▲ 4.0 (今期比+ 4.0㊦)

雇用者数の現状BSIは上昇したが、前期に続き大幅なマイナス水準であり、事業者の人手不足感は高止まりが続いている。

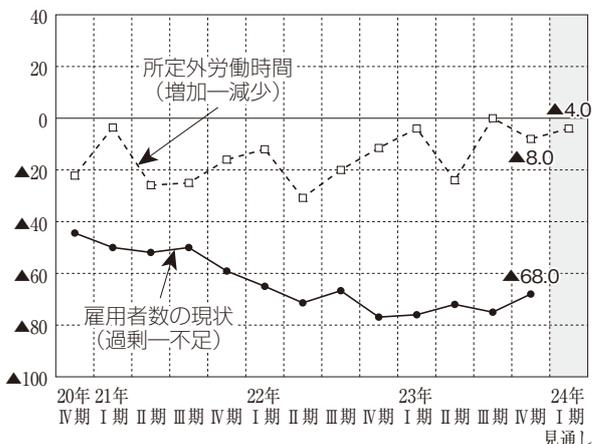
業況判断 (B S I)



売上高と収益 (B S I)



所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



3期連続のプラス水準

◎業況判断

【今期】(2023年10~12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI: +38.7 (前期比+19.8ポイント)

<内訳>

- ・よくなった 45.2% (前期比+18.2ポイント)
- ・悪くなった 6.5% (前期比▲1.6ポイント)
- ・変わらない 48.4% (前期比▲16.5ポイント)

観光関連では、インバウンドの増加で業況が大幅に改善しており、全体では3期連続のプラス水準となった。また、経営上の課題として、人手不足を挙げる割合は44.8%となり、前回調査の22.9%から大幅に上昇した。

サービス業のうち観光関連の16社では、「よくなった」と回答した企業は前期比24.4ポイント増の68.8%、「悪くなった」と回答した企業は6.3ポイント増の6.3%だった。

観光関連以外の15社では、「よくなった」と回答した企業は20.0%、「悪くなった」と回答した企業は6.7%だった。

【来期】(2024年1~3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断BSI: +9.7 (今期比▲29.0ポイント)

<内訳>

- ・よくなる 22.6% (今期比▲22.6ポイント)
- ・悪くなる 12.9% (今期比+6.4ポイント)
- ・変わらない 64.5% (今期比+16.1ポイント)

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI: +45.1 (前期比+23.5ポイント)

収益BSI: +32.3 (前期比+16.1ポイント)

【来期】

売上高BSI: +3.2 (今期比▲41.9ポイント)

収益BSI: ▲6.4 (今期比▲38.7ポイント)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

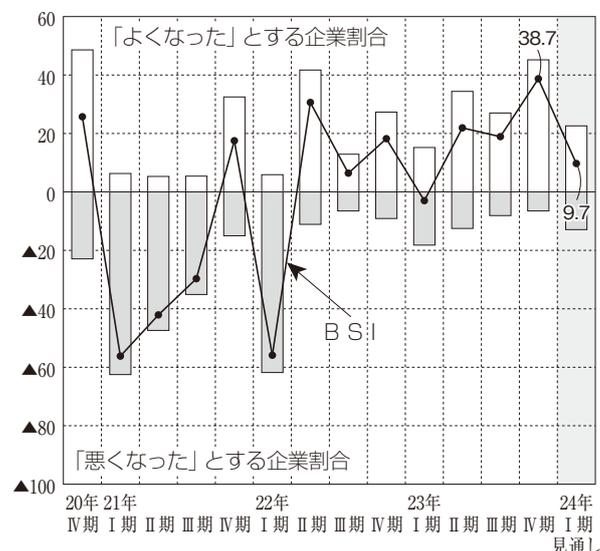
所定外労働時間BSI: +25.8 (前期比+15.0ポイント)

雇用者数の現状BSI: ▲61.3 (前期比▲0.2ポイント)

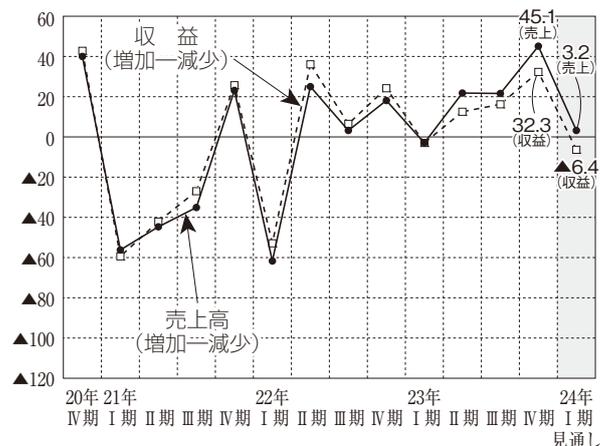
【来期】

所定外労働時間BSI: +6.4 (今期比▲19.4ポイント)

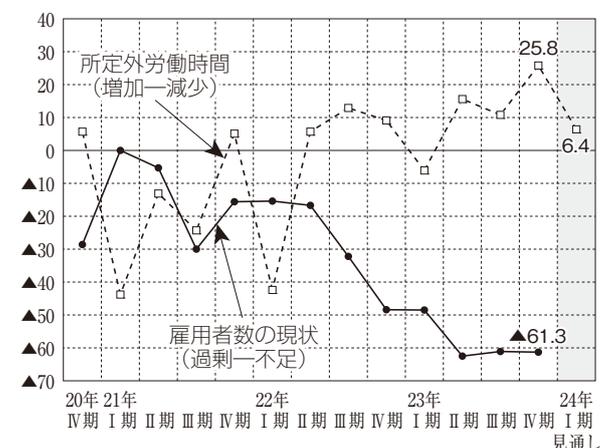
業況判断 (BSI)



売上高と収益 (BSI)



所定外労働時間と雇用者数の現状 (BSI)



BSIとは

BSIとは“Business Survey Index”の略

企業経営者の業況に関する判断や景気見通しを“よくなる・よくなった”、“変わらない”、“悪くなる・悪くなった”という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものである。

BSIは次の数式で求められる。

①[よくなる]+[変わらない]+[悪くなる]=100%とする

②[変わらない]の回答分を除く

③ $BSI = [よくなる] - [悪くなる]$

BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をする。

調査の概要

当調査は、大銀経済経営研究所、大分信用金庫、大分県産業創造機構の三者合同によるアンケート調査である。

◎調査時点 2023年11月30日

◎調査の内容

- ・自社の景況の実績と見通し
- ・売上高と収益の実績と見通し
- ・設備投資実施割合
- ・経営上の問題点など

◎調査対象

- ・県内に本社または出先事業所を有する企業422社

◎回答企業数 171社

・回答率 40.5%

・規模別割合

資本金1千万円未満・個人 6.4%

資本金1千万円～1億円未満 63.7%

資本金1億円以上 17.0%

無回答 12.9%

おおいたの経済と経営 NO.400 1月号付録 2023年12月25日発行（毎月1回25日発行）

発行所 株式会社大銀経済経営研究所 〒870-0035 大分市中央町2丁目9番22号 大分中央町ビルディング7階

TEL (097) 533-8111

編集発行人 衛藤 健

印刷所 株式会社佐伯コミュニケーションズ